

令和8年度

# 町政執行方針



俱知安町

## はじめに

令和8年第1回倶知安町議会定例会の開会にあたり、町政執行につきまして、私の所信の一端を申し上げます。

町長に就任してから7年という月日が経過いたしました。この間、幾多の困難な局面がありましたが、町議会議員並びに町民の皆さまのご支援とご協力を賜り、一つひとつの課題に真摯に向き合い、町政の舵取り役として懸命に職責を果たしてまいりました。任期もいよいよ最終年を迎えることとなりますが、引き続き緊張感を持って町政運営に臨む所存です。

現在、本町には世界中から多くの人々が訪れ、国際的なリゾート地としての存在感を以前にも増して高めております。反面この活況の裏側で、世界的な物価高騰の波や、慢性的な労働力不足といった課題が、地域経済や私たちの暮らしに影響を与えております。観光地としての側面と、町民が営む日々の暮らし。この二つの面が調和し、生活スタイルや経済の恩恵を地域全体に行き渡らせることが、今まさに求められております。

また、北海道新幹線の延伸工事も見に見える形で進み、まちの姿は刻一刻と変化しております。10年先、20年先の将来を見据えたとき、私たちは変化をただ受け入れるのではなく、自らの手でまちの姿を描き、次世代へと繋いでいかなければなりません。デジタル技術の活用や脱炭素社会への転換など、時代の潮流を的確に捉えつつも、私が基本としてきた「町民の皆さまの声に耳を傾け、施策を明確に伝え、実行する」という姿勢は揺らぐことはありません。

足元を見つめ、地域課題の一つひとつに丁寧に取り組みながら、倶知安町で暮らす人々、そしてこの町に関わるすべての人々にとって、「ここがふるさと」と誇れる町となるよう、確かな歩みでまちづくりを進めてまいります。

## 基本姿勢

『第6次倶知安町総合計画』において、町の姿（将来像）として掲げた「いつまでも住み続けたい町“くっちゃん”」の実現をめざし、また、総合計画に基づいて策定している『倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略』及び『倶知安町デジタル田園都市構想総合戦略』に沿って、事業を展開してまいります。

これらが大原則とし、長期的な財政状況も見据え、後述する「重点施策」、「分野別施策・事業」を中心に執行してまいります。

本町を取り巻く環境が激しく変化する中であっても、町政の原点はあくまでも町民の皆様の平穏な日々の生活にあります。華やかなリゾート地として発展する側面ばかりが注目されがちですが、成長という果実を将来への投資へつなげると同時に、現在を生きる皆様の足元をしっかりと支え、変化への不安を安心と活力へと変えていかなければなりません。こどもから高齢者まで、この町に暮らす全ての人が倶知安の発展を自らの喜びとして実感できるよう、「暮らしにまごころ 未来に責任」の言葉を胸に、しなやか、かつ力強く町政運営に邁進してまいります。

## 重点施策

次に、本年度のまちづくりの重点施策について申し上げます。

### 1 未来を創るこどもたちへの投資

こども施策につきましては、令和8年度から施行を目指す「くっちゃん子をみんなで育てる条例」や本年度から計画期間が始まる「倶知安町こども計画」のもと、こどもや若者の視点を大切にしながら、妊娠・出産期から成長段階に応じた切れ目のない支援を通して、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。

本年度は新たに、小学校の適正配置に向けた検討や校舎の健全度調査に着手し、教育環境の最適化に向けた歩を進めてまいります。また、就学への円滑な移行につなげるため「3歳児以上入園奨励祝金」を新設し、こども園入園を促進するとともに子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、こどもが健やかに成長できるよう、きめ細かな支援に取り組んでまいります。

さらに、老朽化と狭隘化が進んでいる「羊蹄山ろく発達支援センター」の建替整備に向け、本年度は整備候補地の測量を実施いたします。身近な地域で安心して専門的な支援を受けられる体制を整えるため、財政負担を十分に考慮しながら、引き続き着実な検討を進めてまいります。

### 2 地域の活力を次世代へつなぐ基盤への投資

冬季の二次交通対策につきましては、観光客や町民の重要な移動手段である「ひらふ無料循環バス」や、タクシーの他地域からの応援派遣による「ニセコモデル」の支援を継続し、利便性の向上に努めてまいります。あわせて、歩行者・自動車双方の安全を確保するため、ひらふ地区の新たなロードヒーティング整備に向けた設計に着手いたします。加えて、新中区配水池の建設に伴う駐車場不足に対応するため、ひらふ高原中央公園内に駐車場を整備し、円滑

な受入環境を維持してまいります。

観光施策の推進にあたりましては、本町の観光地域づくり法人（DMO）である倶知安観光協会が、令和7年度に道内初となる「先駆的DMO」に選定されました。受入環境の整備のみならず、「Kutchan ID+」や「マジカルダイニング」といった観光の地域理解を促進する取組まで幅広く展開しております。長年の課題であったグリーンシーズンの観光入込につきましても、MICE誘致やインバウンドの長期滞在により着実な改善傾向にあることから、地域の持続的な発展に向けた活動を一層力強く支援してまいります。

さらに、外国籍住民が地域の一員として安全・安心に暮らせる環境を整えるため、新たに「コミュニティ通訳派遣事業」を開始いたします。言葉の壁によるトラブルを未然に防ぎ、地域全体の安全と秩序を守ることで、多様性がもたらす活力を町の持続的な成長へと繋げ、将来にわたり確かな豊かさを引き継ぐ土壌を育ててまいります。

### **3 町の未来を形づくる新幹線開業を見据えた基盤づくり**

北海道新幹線の札幌開業延期という局面の中ではありますが、この事態を単なる待ち時間とするのではなく、開業時の効果を最大化する完成度を高める期間と捉え、未来に向けた基盤づくりを止めることなく推進してまいります。

町の玄関口となる駅前通り周辺につきましては、開業を見据えた賑わいと利便性を創出するため、周辺整備や活性化に向けた検討をさらに深化させてまいります。この延期期間を、周辺環境の変化や新たなニーズを的確に捉え直す好機とし、将来にわたって町民が誇れる「まちの顔」のあり方を具体化してまいります。

また、町民や観光客が安全かつ快適に通行できるよう、北海道が進める無電柱化事業に合わせ、駅前通りの歩道ロードヒーティング整備に着手いたします。冬期における移動の安全性を飛躍的に高め、観光地にふさわしい環境づくりに向けた投資を行ってまい

ります。

#### 4 ふるさと“くっちゃん”の風景を次世代につなげる基盤づくり

昨年、私たちの誇りである羊蹄の美しい景観が、違法な開発行為によって損なわれかねない事態が明らかになりました。良好な景観を適正に保全し、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進することは、本町にとって極めて重要な課題であります。

この課題に対し、実効性をもって対応するため、準都市計画区域の拡大に向けた検討に着手いたします。あわせて、適正な土地利用の誘導につながる「特定用途制限地域」や「景観地区」の指定に向けた事前調査を実施し、ふるさとの風景を守るための確かな法的基盤を整備してまいります。

これらのルールづくりにあたっては、地域住民が望む土地利用のあり方を踏まえたものとし、この町に暮らす全ての人々が誇りと愛着を持てる“くっちゃん”の風景を、未来へと確実に継承してまいります。

以上4点を、本年度の特に重要度の高いものとして掲げたところですが、これらの他にも、第6次総合計画に基づき、いつまでも住み続けたい町“くっちゃん”を目指し各施策を取り進めます。

## 予算編成の大綱

国の令和8年度の地方財政の見通しにおいては、物価高騰や賃金上昇の動向を反映した適切な対応、こども・子育て政策の抜本的な強化、DXの推進など、直面する行政課題へメリハリを効かせた対応を行う方針が示されたところです。

地方財政対策といたしましては、人件費や物件費等の高騰が見込まれる中、地方公共団体が住民サービスを安定的に提供できるよう、一般行政経費や施設維持補修費等の財政需要を適切に織り込み、令和7年度を上回る一般財源総額を確保する見通しとなっております。

こうした国の動向を踏まえ編成いたしました、本町の令和8年度当初予算の概要について申し上げます。

歳入の根幹をなす町税におきましては、固定資産税が堅調な伸びを見せ、約3億円の増収を見込んでおります。加えて、好調な経済活動により町民税も個人・法人あわせて約1億7千万円の増、さらに観光客の増加に伴い宿泊税も1億9千万円の増収を見込むなど、町税全体では、対前年度比6億8,182万円増の、総額55億4,081万3千円を計上いたしました。

地方交付税につきましては、これらの税収の増加に伴い、普通交付税は3億8千万円の減額、特別交付税は3千万円の増額を見込み、総額12億6千万円としております。

また、本年度は大型事業が本格化いたします。地方債の借入は、プール絵本館複合拠点施設整備、山田地区上水道整備事業費負担金、倶知安厚生病院第2期整備費負担金などに充てるものとして、対前年比で23億1,990万円増の44億9,890万円を計上いたしました。

その他の歳入につきましては、前年度の実績や、国庫支出金等を精査し計上しておりますが、歳入歳出の均衡を図るため、財政

健全化基金から前年度比1億9千万円増となる6億5千万円を繰り入れ、財源として活用することといたしました。

一方、歳出におきましては、プール絵本館複合拠点施設建設工事や南6条団地の建替え、北海道新幹線建設費負担金、上水道整備の負担金など、将来のまちづくりに不可欠な建設事業費の比率が高くなっております。

経常経費につきましても、労務単価の上昇に伴う委託料の増や、過去の大型事業に係る公債費の増加などが財政を圧迫する要因となっておりますが、事業の優先順位を厳格に判断し、予算配分を行いました。この結果、一般会計の予算規模は、前年度当初予算を36億5,900万円上回る、総額181億9,800万円となりました。

以上、予算編成の概要について申し述べました。

# まちづくりの基本目標と分野別施策・事業

※表中の主要事業費の単位は千円

『第6次倶知安町総合計画』基本目標に沿った、令和8年度の分野ごとの主な施策・事業を申し上げます。

## 1 くっちゃんで暮らす幸せを感じる

### 1-1 安心して子育て子育てができるまちにする

#### (1) 出産・育児・子育て子育て

子育て世代が安心してこどもを産み、育てることができる環境づくりを一層充実させてまいります。

妊娠前・妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援として、先進不妊治療費等助成事業をはじめ、産後ケアや各種健診、相談支援事業等を継続し、こどもの健やかな成長と発育を支えてまいります。

さらに、子育て家庭の多様なニーズに応えるため、一時預かり事業や「こども誰でも通園制度」の充実を図るほか、新たに認定こども園へ入園する3歳児以上の保護者に対し「入園奨励祝金」を交付いたします。認定こども園での集団生活を通じた社会性や自立心の育成、小学校への円滑な接続を促すとともに、経済的負担の軽減を図ってまいります。

安心してこどもを預けられる体制づくりとこども・若者の居場所づくりの取組として、奨学金返還支援や一時金給付等を通じ、町内保育施設で働く保育士等の確保に努めるとともに、児童館や放課後児童クラブの運営について民間事業者への委託に向けた準備を進め、将来にわたり持続可能で安定した運営体制を構築してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
先進不妊治療費等助成事業	457	±0
産後ケア事業	2,059	+61
3歳児以上入園奨励祝金	3,570	新規

保育人材確保一時金給付費	6,500	+1,500
保育士等奨学金返還支援事業助成金	1,715	△701
発達支援センター事業	36,264	+7,335
発達支援センター建替候補地測量業務	1,477	新規
児童館運営事業 (うち委託化分)	34,818 (17,730)	+587 (新規)
放課後児童クラブ運営事業 (うち委託化分)	50,739 (28,518)	△1,033 (新規)

## (2) 教育

未来を担うこどもたちの教育環境の整備につきましては、教育委員会と連携し、「倶知安町教育大綱」に基づく施策を展開してまいります。

学校施設においては、中学校照明のLED化や、1人1台端末の更新、小学校への電子黒板導入など、ICT活用を含めた快適な学習環境を整えてまいります。

また、子育て世帯の経済的負担の軽減に向け、学校給食費につきましては、国の交付金と町の負担による小学生の無償化に加え、中学生につきましても物価高騰分を公費負担することで価格を据え置き、安心して教育を受けられる環境づくりに努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
倶知安中学校照明LED化工事	92,730	新規
小学校学習用タブレット端末更新(継続2年目)	18,909	△11,121
小学校電子黒板導入	13,500	新規
小・中学生の給食費公費負担	6,183	制度変更

## 1-2 誰もが長く働き続けられるまちにする

### (1) 農業

ふるさと倶知安を支える農業の振興につきましては、我が国最大の食料供給地域である北海道農業の一翼を担うべく、生産基盤の強化と担い手の確保に注力してまいります。

基幹作物である馬鈴薯の安定生産とブランド力維持に向け

たシストセンチュウ対策や種子圃場確保への助成に加え、土壌資源づくりへの支援、花園育成牧場の草地改良による畜産振興など、生産体制の支援を継続いたします。併せて、次世代を担う若手農業者の研鑽・交流活動を後押しし、持続可能な農業の実現を図ってまいります。

また、営農と生活を守る鳥獣被害対策につきましては、電気柵購入や、倶知安町鳥獣被害防止対策協議会による駆除活動への助成を継続いたします。特にヒグマ対策におきましては、パトロール報酬や捕獲奨励金の増額に加え、緊急銃猟における出動体制を整備し、安全な生活環境の確保に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
種馬铃薯生産補助	842	新規
花園育成牧場管理運営	34,334	2,417
花園育成牧場修繕工事（路面、法面など）	14,734	+11,164
有害鳥獣駆除事業	1,869	+380
緊急銃猟業務	825	新規
有害鳥獣捕獲用備品購入	597	+116
有害鳥獣被害防止器具補助	3,000	+1,000
鳥獣被害防止対策協議会活動事業補助	3,781	+1,215

## （２）商工業

商工業の振興につきましては、まちの未来を担う事業者の育成と、足元の地域経済活性化を両輪とし、支援を展開してまいります。

次世代の担い手育成につきましては、倶知安商工会議所と連携し、創業者支援事業の補助制度を通じ、創業や事業承継へのサポートを一層強化してまいります。

地域経済の持続的な発展につきましては、町内事業者の支援と消費喚起を図るため、本年度も引き続き、倶知安商店連合会が実施するプレミアム商品券発行事業へ助成してまいります。

また、国際リゾート地としての成長や北海道新幹線開業に向けた取組など変化が著しい中、地域経済に与える効果を見える

化することを目的とし、令和7年度より「地域経済状況調査」に着手いたしました。7年度においては、事業所へのアンケートやヒアリング調査を実施し、産業連関表の作成まで至り、さらに8年度においては、産業連関表を用いた地域産業構造の分析や経済波及効果の測定などを行い、それらの結果を分かりやすくまとめた報告書を作成し、公表してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
俱知安町創業等支援事業補助	12,000	±0
俱知安商工会議所事業補助金	20,000	+5,000
中小企業振興融資利子補給補助、中心市街地空店舗事業補助、中小企業高度化事業推進補助	3,220	±0
プレミアム商品券発行事業補助	11,200	±0
地域経済状況調査業務	3,960	新規

### 1-3 健康で笑顔があふれるまちにする

#### (1) 医療・保健

地域医療の拠点であるニセコ羊蹄広域俱知安厚生病院に対し、機能充実と防災拠点病院としての強化を図るため、外構工事等の第2期整備事業へ助成を行い、本年度における全事業の完了を後押ししてまいります。また、救急医療等体制の維持や産婦人科医師確保対策などの不採算部門の支援につきましても、羊蹄山麓をはじめとした関係町村と連携し、地域医療を守る取組を継続してまいります。

町民の健康づくりにつきましては、各種健診の受診勧奨のほか、料金助成など受診しやすい環境を整えてまいります。さらに、健診結果による保健指導や栄養指導に加え、推定野菜摂取量を数値化する「ベジチェック」を活用し、生活習慣病の発症及び重症化の予防に努めてまいります。

また、感染症対策につきましても、新たに定期接種化されるRSウイルスワクチンの費用助成など、乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた予防体制を整えてまいります。

なお、国民健康保険事業につきましては、俱知安町国民健康

保険運営協議会の答申を踏まえ、課税限度額を国の令和7年度の法定課税限度額へ引き上げ、税率は令和6年度から据え置きとし、基金を取り崩すことなく安定的な財政運営に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
倶知安厚生病院第2期整備費用負担金	375,702	+142,475
救急医療体制整備補助金（当番病院開設補助）	33,120	±0
救急医療体制整備補助金（厚生病院救急医療）	140,000	±0
倶知安厚生病院産婦人科医師確保対策事業補助	7,200	±0
健康増進対策事業費（健診や栄養指導の運営）	28,231	+2,087
RS ウイルスワクチン接種費用の助成	1,440	新規

## （2）高齢者・障がい者福祉

「第9期倶知安町高齢者保健福祉計画」に基づき、「高齢者がいつまでも、自分らしく安心して最後まで暮らし続けられるまちづくり」を目指し、医療・介護をはじめとした介護予防への取組の充実を図ってまいります。

また、認知症高齢者を支えるため、様々な予防対策の仕組みづくりに取り組むとともに、介護人材の確保・定着について、資格取得・更新に必要な経費の一部助成のほか、人員定着への取組も進めてまいります。

障がい者施策では、障がいのある人も地域の一員として普通に暮らし、ともに生きる地域づくりを進めてまいります。本年度策定する「倶知安町第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」においては、個々の能力や適性を評価し、就労に向けた事業者とのマッチングを行う新たなサービス「就労選択支援」を盛り込み、地域の現状に合わせた目標を設定した上で、策定を進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
高齢者・障がい者世帯訪問除雪	12,716	+2,120
緊急通報システム、電話声かけサービス	3,998	△527
敬老お祝い事業（祝金、クーポン）	8,570	△8
手話通訳者の養成	1,452	+5

介護人材等確保支援事業補助	200	△100
認知症支援（認知症カフェ、講座など）	4,883	+429
高齢者保健福祉計画策定業務	5,060	新規
障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定業務	5,500	新規

### （3）健康づくり・スポーツ・生涯学習

プール絵本館複合拠点施設の建設工事につきましては、本年度いよいよ本格的な工事の実施となります。

基本的方針の「誰もがいつでも安心して利用でき、多様な活用によって、世代を超えた交流が生まれる拠点づくり」を達成するため、今後も教育委員会と緊密に連携しながら、事業実施を支援してまいります。

生涯学習の拠点となる文化福祉センターにつきましては、建物の老朽化に伴う計画的な改修を進めるとともに、利用者から長年にわたり切実なご要望をいただきましたエレベーターについて、本年度より設置に向けた工事を開始し、利便性とバリアフリー化の向上を図ってまいります。

スポーツの振興につきましては、全ての世代においてスポーツに親しむ環境づくりを進めてまいります。特に町技であるスキーをはじめ、ウィンタースポーツを通じて町民のたくましい心身とゆたかな町づくりに資するために、小中学生を対象としたスノーリゾート利用補助事業を継続してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
プール絵本館複合拠点施設建設工事	2,282,940	+1,810,842
プール絵本館複合拠点施設地中熱導入工事	224,715	新規
新施設愛称応募事業	209	新規
体育施設指定管理者公募支援業務	6,699	新規
文化福祉センターエレベーター設置工事	112,013	新規
文化福祉センターバリアフリー対策 （3階トイレ・連絡通路 改修工事実施設計）	3,993	新規
文化協会補助	3,300	+100
スキーの町スノーリゾート利用事業補助金	16,900	±0
旭ヶ丘スキー場管理業務（運営、設備保守・更新）	28,657	+6,616
スキー国際大会等参加助成金	1,200	±0

## 1-4 帰ってきたくなる故郷（まち）にする

### （1）自然環境保全

森林の整備と保全に当たっては、「倶知安町森林整備計画」に基づき、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適切な森林資源の維持造成を推進してまいります。

町有林におきましては、峠下地区・山梨地区において森林環境保全整備事業を活用した下刈りによる健全な樹木の育成や、森林再生・路網確保のための用地取得を進めてまいります。

さらに、民有林につきましても、伐採後の着実な植林に向けた豊かな森づくり推進事業を継続し、森林資源の循環利用と林業の再生が促進されるよう努めてまいります。

また、町民の憩いの空間である旭ヶ丘保健保安林におきましては、森林レクリエーション、保健・休養の場として快適に散歩できるよう、引き続き適切な維持管理に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
森林環境保全整備事業（峠下・山梨地区の下刈）	7,623	△4,422
旭ヶ丘保健保安林管理業務	2,658	+133

### （2）景観形成

令和7年に立ち上げた倶知安町景観まちづくり協議会、通称「ツクルバ」では、町内で活動する景観まちづくり団体、風土館や美術館など社会教育施設の職員、町内の学校教職員、更には児童生徒も参加し、交流が図られております。

今後もツクルバにおけるヨコの繋がりを活かし、未来のまちづくりを担う次世代が町の財産である歴史や文化を深く知り、地域への愛情を育み、「倶知安に住み続けたい・戻ってきたい」と思える景観まちづくりを展開してまいります。

また、周囲の自然環境や街なみに配慮した開発を誘導するため、適切な土地利用と景観形成を目指した景観地区及び特定用途制限地域の制度の導入に向けた取組を進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
準都市計画等の拡大検討	15,957	新規

### (3) ごみ処理・再生エネルギー

本町のごみ処理は、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、住民や事業者の協力を頂きながら、ごみの減量化や資源化、適正な廃棄物処理に取り組み、循環型の地域社会づくりを進めてまいりました。引き続き、「ごみ分別アプリ」の利用者拡大を図るとともに、多言語に対応した分別動画による啓発など、分別ルールの周知徹底を推進いたします。

また、老朽化が進むごみ処理施設や最終処分場の再整備に向けて「ごみ処理施設基本構想」を2か年で策定いたします。

地球温暖化対策につきましては、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す「倶知安町ゼロカーボンシティ」宣言に基づき、今後、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進してまいります。

また、倶知安町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、温室効果ガスの削減目標の達成に向けた施策を進めてまいります。

なお、再生エネルギーの導入に当たっては、8年度から施行を目指す「倶知安町ふるさとの風景と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に基づき、生活環境との適正な調和を図ってまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
ごみと資源物の収集・処理業務	475,741	+37,303
ごみ分別アプリ保守	185	+39
ごみ処理施設基本構想等業務	14,790	新規

### (4) 衛生

下水道整備区域外の専用住宅における合併処理浄化槽の設置を計画的に支援し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を

防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めてまいります。また、尻別川流域においては、水質検査を実施するなど、清流の維持に努めてまいります。

羊蹄衛生センターにつきましては、令和13年度の汚泥再生処理センターへの施設更新に向け、組合構成町村と連携して事業を進めてまいります。

倶知安斎場につきましては、安全かつ適正な火葬が行えるよう維持管理に努めます。火葬件数が増加傾向にあるため火葬炉設備を計画的に修繕するとともに、待合室の環境改善も進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
浄化槽設置整備事業補助	5,454	+168
羊蹄山麓環境衛生組合負担金	49,754	+2,470
斎場火葬炉排気ファン・燃焼空気ブロワ交換工事	11,550	+2,541
斎場火葬炉設備精密点検（化粧扉・電動運搬車等）	1,073	新規
斎場待合室畳入替	1,004	新規

### （5）移住・定住対策

国際リゾート地である本町への定住化を促進するため、国勢調査等の結果を基礎データとして活用し、人口減少の緩和を図ってまいります。また、倶知安観光協会が展開する「KutchanID+」を活用した町民優待の取組とも連携し、この町に住んで良かったと思えるまちづくりに努めてまいります。

地域おこし協力隊につきましては、観光地域づくりや景観まちづくり支援などの分野において4名の隊員がそれぞれの能力や経験を活かし、活動を展開しております。なお、本年3月末をもって卒業する隊員は本町に残り、引き続きグリーンシーズンの観光振興などに携わる予定となっております。今後も、観光のほか、社会教育や多文化共生などの分野において隊員を募集し、活動による地域活性化とあわせて、地域外の多様な価値観や新たな視点を持った人材が、地域の担い手として定住・

定着ができるよう支援してまいります。

また、住居の確保をはじめとする定住環境の整備については、多くの方々や関係団体から切実な声が寄せられており、本町のまちづくりにおける次なる大きな課題であると認識しております。この課題は行政の力だけで解決できるものではないことから、さまざまな関係団体と密接に連携し、知恵を出し合いながら実効性のある施策の検討を進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
地域プロジェクトマネージャー任用（2名）	12,159	+5,665
地域おこし協力隊任用（9名分）	46,892	+823

## （6）行財政運営

複雑化する社会情勢や深刻化する人手不足に柔軟に対応し、質の高い住民サービスを維持していくためには、行政自らが変化し、強固な基盤を構築していかなければなりません。

行政のデジタル化につきましては、「倶知安町 DX 推進方針」に基づき、さらなる住民利便性の向上と業務効率化を加速させてまいります。本年度は、マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニエンスストア等で住民票などの各種証明書を取得できる「コンビニ交付サービス」の運用開始に向け、着実に準備を進めてまいります。これにより、窓口の混雑緩和を図るとともに、町民の皆さまのライフスタイルに合わせた、より身近で便利な行政サービスの提供を実現してまいります。あわせて、昨年度に統合を完了した統合型 GIS につきましては、デジタル地図上での一般公開を開始し、情報のオープン化をさらに進めることで、町民や事業者の皆さまの利便性向上を図ってまいります。

こうした仕組みを動かす最大の財産は「職員」に他なりません。日々変化する課題にしなやかに対応できる組織となるよう、職員の資質向上に向けた人材育成を着実に進めてまいります。

財源の確保につきましては、昨年度から進める債権徴収業務

の集約化による効率的な運用を通して、負担の公平性と徴収率の向上に着実に取り組んでまいります。町全体の歳入確保を確実なものとするこゝで、住民サービスのさらなる向上へと繋げてまいります。

ふるさと応援寄附を取り巻く環境は、国の制度改正や自治体間の競争激化など、厳しさを増しております。こうした中においても、本町の魅力を戦略的に発信し、共感の輪を広げるこゝで、貴重な財源を安定的に確保できるよう、返礼品の開拓やポータルサイトの効率的な運用に努めてまいります。また、企業版ふるさと納税につきましても、あらゆる機会を通じて本町のプロジェクトへの賛同を募り、地方創生の推進に向けた積極的な募集活動を展開してまいります。

併せて、将来にわたる安定的な財政運営を見据え、新たな財源確保のあり方についても、引き続き検討を重ねてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
コンビニ証明書交付システム導入事業 (総合行政システム運用費負担金)	11,230	新規
冬季窓口業務負担軽減対策事業 (総合行政システム運用費負担金、住基システム入力代行)	8,659	新規
GIS 住宅地図更新業務	1,205	新規
職員研修費	3,861	+47
ふるさと応援寄附金事業費	600,000	±0
法定外税導入検討	534	△18

## 1-5 住みたくなる都市(まち)にする

### (1) 建設

町道や橋梁など、交通基盤の整備につきましては、交通量や損傷状況を勘案し、西1丁目南通1号線をはじめとする道路改良工事を継続するほか、西6号富士見線等の改良や、長寿命化計画に基づく羊蹄大橋の修繕工事を実施いたします。併せて、損傷した町道は適宜修繕を行い、安全で円滑な交通網の確保に努めてまいります。

冬期間の生活を守る除排雪対策につきましては、購入から 25 年が経過した除雪トラック 1 台を更新し、作業の効率化を図るとともに、私道等除排雪補助金についても、事業者負担の増加を考慮し、本年度も増額して計上いたしました。また、流雪溝設備につきましても、老朽化した北 3 条ゲート操作盤の更新など適切な維持管理を行い、安定的な稼働に努めてまいります。

河川や公園などの維持管理につきましては、大雨災害に備えた砂利川の浚渫等による浸水被害防止対策や、普通河川の維持管理を行うほか、公園事業においても、旭ヶ丘総合公園の老朽トイレの除却や、六郷鉄道記念公園の遊具更新を行い、町民が安全で快適に利用できる環境を整備してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
道路改良工事（継続 4 路線）	143,000	+12,000
道路改良工事（西 6 号富士見線）	120,000	新規
羊蹄大橋修繕工事	16,000	新規
舗装道路補修	21,887	+10,000
除雪トラック購入	65,000	+5,000
私道等除排雪補助	25,000	+1,000
流雪溝北 3 条ゲート操作盤更新工事	20,680	新規
砂利川河川維持工事	1,331	+331
旭ヶ丘総合公園中央広場トイレ除却工事	6,545	新規
六郷鉄道記念公園ターザンロープ更新工事	4,671	新規

## （2）都市計画

JR 倶知安駅から南北に伸びる町道西 3 丁目通につきましては、将来の新幹線や高規格道路開業に向けて街路整備を予定していることから、本年度、予備設計調査を実施いたします。

また、令和 3 年度から進めている北 7 条通街路事業は、既に全体の約 9 割が完成しておりますが、残る未完了区間について、本年度も引き続き工事を進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
西 3 丁目通道路実測量及び予備設計業務	11,253	新規
北 7 条通街路事業	10,739	△8,914

### (3) 上水道・下水道

上水道事業につきましては、水質検査計画に基づく毎日の残留塩素測定を徹底し、町民が安心して飲むことができる水の提供に努めるとともに、ニセコひらふ地区の需要の増加に対応するため、井戸や新中区配水池の整備を令和9年度の完成を目指して進めてまいります。また、市街地におきましても、老朽管の更新や耐震化、高砂浄水場更新の基本設計に着手し、安定した給水体制を構築してまいります。

また、経営面におきましては、厳しい環境下でも安全で良質な水を将来にわたり供給し続けるため、水道料金の改定に着手いたします。

下水道事業につきましては、管渠の老朽化対策として管路点検調査を継続し、不具合箇所の特定制と対応を適宜進めてまいります。下水終末処理場は、3か年で更新を進めている最初・最終沈殿池の機械・電気設備更新工事が最終年度を迎えます。

処理能力の増強につきましては、冬期間の流入増に対応するため、山田第一ポンプ場の増強工事や、終末処理場における反応タンクの増設に向けた実施設計を行います。

併せて、事業環境の変化に対応し、中長期的に安定した汚水処理を継続するため、「下水道事業経営戦略」の改定作業を進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
新中区配水池建設工事	1,347,464	+857,502
新中区配水池機械電気設備工事	134,595	+134,595
比羅夫5号井戸機械電気設備工事	240,020	+240,020
高砂浄水場更新基本設計業務	46,068	新規
町道東3号豊岡線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	22,297	+5,797
最初沈殿池・最終沈殿池施設更新工事	471,300	+114,100
山田第一ポンプ場機能増強工事	50,000	新規
水処理設備増強実施設計業務	20,000	新規
下水道事業経営戦略更新業務	7,183	新規

#### (4) 公共交通

町民の生活の足を支える地域交通につきましては、通年運行15年目を迎えた循環バス『じゃがりん号』の運行を継続するとともに、郊外デマンドバス『じゃがたく』についても、これまでの実証運行の成果を精査し、より利便性が高く持続可能な交通体系の確立に取り組んでまいります。併せて、町独自のタクシー確保事業も継続し、身近な移動手段の確保に努めてまいります。

広域的な交通ネットワークの維持・形成につきましては、並行在来線のバス転換について、新幹線延伸延期等の状況を踏まえ、引き続き対策協議会等を通じて慎重に検討を進めてまいります。また、路線バス等の担い手不足対策として、乗務員への家賃補助に取り組み、運行事業者と連携して体制の維持に努めるほか、これら公共交通を補完する自転車につきましても、「倶知安町自転車活用推進計画」に基づき安全・快適な利用環境の整備に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
じゃがりん号の運行	36,834	+1,111
郊外型じゃがりん号（じゃがたく）実証運行	6,525	+166
ニセコモデル事業負担金（ニセコ観光圏協議会）	30,000	+9,800
町民向けタクシー確保事業補助	5,400	△1,808
バス運転手住居支援事業補助	720	新規
域内交通体系再編支援業務 （地域公共交通活性化協議会補助）	7,200	新規

#### (5) 防災

災害への備えにつきましては、食料や毛布、発電機など、計画に基づき必要な物資の備蓄を進めるとともに、避難所の機能強化を図るため防災資機材を充実させてまいります。併せて、情報伝達の要となる防災行政無線につきましても、日頃からの点検整備により、万全の維持管理に努めてまいります。

有事の際の対応力強化につきましては、職員を対象とした避難所運営訓練の実施により「公助」の力を高めるほか、「自助」「共助」の観点からも、町内会単位での防災訓練等への支援を行い、町民一人ひとりが正しい知識や適切な行動を習得できるよう努めてまいります。

また、本年度は倶知安消防署の小型動力ポンプ付積載車を更新いたします。事故や災害現場における迅速な救助・出動体制を確保し、24時間体制で町民の生命と財産を守る万全の備えを構築してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
防災備蓄品（観光客等一次滞在者向け）	2,415	+117
小型動力ポンプ付積載車購入	22,479	新規

## （6）防犯・交通安全

犯罪を未然に防ぐ環境づくりにつきましては、昨年度に続き防犯カメラの設置を進めるとともに、夜間の安全を守る街路灯につきましても、町管理分のLED化を計画的に進めてまいります。併せて、町内会等が管理する防犯灯につきましても、電気料やLED設置に対する補助を継続し、地域全体で明るく安全な環境を維持してまいります。

安全意識の向上につきましては、生活安全条例に基づく公共の場所での飲酒制限について、電柱広告等を活用した周知徹底を図ってまいります。

また、交通安全対策につきましても、関係機関と連携した街頭啓発や旗の波作戦などを通じ、交通ルールの遵守と交通マナーの定着を図り、事故のない社会の実現に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
防犯カメラ設置工事	1,738	+209
メルヘン通り街路灯LED化工事（本年度で全完了）	1,870	+427
街路防犯灯設置費補助	4,120	△902
街路防犯灯電気料補助	7,517	+695
路上飲酒規制区域に係る公共表示看板設置	248	新規

## 2 くっちゃんて交流する幸せを感じる

### 2-1 交流エリアとしての質を高める

#### (1) 域内交通

倶知安観光協会が冬期に運行する「ひらふ無料循環バス」や「ナイト号」、夏期に運行する「スカイリゾートシャトルニセコ」、さらに冬期に花園地区とニセコひらふ地区・市街地を結ぶ「HANAZONO シャトル」については、観光客の重要な移動手段であるため、運行支援を継続いたします。

また、喫緊の課題である2次交通の確保に向け、他地域からの車両・運転手派遣を活用する「ニセコモデル」によるタクシー供給の継続に加え、日本版ライドシェアや自動運転などの新たな移動サービスにつきましても、先進地の事例や制度動向を注視し、導入の可能性について調査・研究を進めてまいります。

さらに、将来的な交通のグランドデザインといたしまして、新幹線札幌延伸を見据え、倶知安町・ニセコ町両町の交通体系を整理するためのアクションプランについて、ニセコ観光局プロジェクト協議会において検討を進め、エリア全体の持続可能な交通ネットワークの構築を検討してまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
2次交通整備事業（倶知安観光協会補助のうち）	168,400	+29,500
ニセコ HANAZONO リゾート連絡交通補助	33,370	+12,970
ニセコ観光局プロジェクト負担金	1,150	新規

#### (2) 自然環境の保全

国立公園である羊蹄山につきましては、山麓5町村で構成する連絡協議会を中心に、環境保護と適切な利用の啓発に取り組んでまいります。

また、倶知安観光協会ではガイド育成事業において、トレッキングルートへの整備と保全に取り組んでおり、ガイドによる登山道の修復技術の取得や環境維持への啓発活動を継続してまいります。トレッキングルートに関する取組では、後志総合振

興局が推進する「ニセコトレイル」と連携するほか、鏡沼周辺がニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部となったことから、自然公園として利用と保全のバランスを図ってまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
羊蹄山管理保全連絡協議会負担金	985	±0
ニセコ山系観光連絡協議会負担金	1,091	+55

### (3) 防犯・防災・山岳事故防止

リゾートエリアであるニセコひらふ地区の防犯対策につきましては、防犯拠点となるニセコひらふ安全センターを中心に、観光客が安全で安心して滞在できる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

山岳事故防止につきましては、ニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会が取り組むニセコルールの周知啓発やなだれ情報提供体制の強化に対し、関係機関と連携した事故防止の活動を継続するとともに、不測の事態に備え、羊蹄山ろく消防組合における山岳救助隊の活動資機材の整備を進めてまいります。あわせて、隊員個々の能力向上を図ることで、救助事案に対する高度な対応能力の維持・強化に努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
ニセコひらふ安全センター改修工事	7,810	新規
ニセコひらふ安全センター運営費	1,588	△657
ニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会負担金	2,766	△195
山岳救助隊活動資機材整備	1,380	+720

### (4) 広域観光

ニセコエリアのブランド価値を高め、国際リゾート地としての競争力強化を図るため、観光DXによる受入環境整備や観光客の満足度向上に継続して努めます。

バスロケーションデータの配信やニセコアプリによる情報提供、海外向けのグリーンシーズン情報の発信、宿泊データ分

析に基づいたマーケティングなど、広域連携の取組をニセコエリア全体で進めるため、ニセコ観光圏協議会負担金及び観光客対応情報発信事業補助金に所要の予算を確保しております。

●主要事業	事業費	対前年度比
ニセコ観光圏協議会負担金	14,783	+7,402
観光客対応情報発信事業補助	3,522	新規

## 2-2 交流タウンとしての魅力を高める

地域DMOである倶知安観光協会につきましては、交通関連の環境整備、観光の地域理解促進、閑散期対策などの取組が評価され、令和7年度に観光庁より「先駆的DMO」に選定され、近年はグリーンシーズンの宿泊数増加など着実な成果を上げております。夏には自転車ロードレースの国際大会も予定されており、グリーンシーズン観光を一層盛り上げるため、大会と連動した同協会の事業を支援してまいります。

また、観光に対する地域理解の促進として、観光振興が町民の皆様に還元されるよう、町民優待の取組である「Kutchan ID+」や関連する「マジカルダイニング」を継続してまいります。

あわせて、一般社団法人ニセコひらふエリアマネジメントにつきましても、地域に根ざした継続的な環境整備活動が見込まれることから交付金の予算を措置し、各観光組織と連携したまちづくりを進めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
グリーンシーズン誘客事業、MICE事業（倶知安観光協会補助のうち）	43,350	+18,850
観光の地域理解促進事業<Kutchan ID+、マジカルダイニング>（倶知安観光協会補助のうち）	30,900	+24,975
ニセコひらふエリアマネジメント交付金	9,600	+390

## 2-3 交流タウンとして多文化共生を実現する

多文化共生のまちづくりにつきましては、外国籍の人材が地域社会に不可欠なパートナーであるとの認識の下、互いの文化

を尊重し合える環境づくりを進めてまいります。

地域でのコミュニケーション支援としましては、6年目を迎える「にほんごサロン『にこちゃん』」など、「やさしい日本語」を通じた交流や相談体制の充実を図り、外国籍住民の不安解消と地域定着を支援してまいります。

また、生活ルールの周知につきましては、転入時の「暮らしのマナーガイド」の配布や、多言語による解説動画の活用により、ごみ出しや騒音等のマナーを分かりやすく伝え、トラブルのない安全・安心な地域づくりに努めてまいります。

●主要事業	事業費	対前年度比
コミュニティ通訳の養成・派遣	194	新規
にほんごサロン「にこちゃん」運営	247	+54
生活ガイドブックの作成	750	+237
外国籍転入生受入環境の整備	12,314	△543
町民向け英語研修事業	1,753	+79

以上、令和8年度の町政執行に臨む、私の基本姿勢と主要な施策について述べさせていただきました。議会議員の皆さま並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

